県央

12歳以下フットサルフェス
FANATICOS（高崎）初V

高崎　12歳以下の少年少女を対象とした「2019NEXUSフットサルフェスティバル」が23、24の両日、高崎市島野町のキックス高崎で開かれた＝**写真**。県内外の男女計43チームが熱戦を展開し、男子はFE ATLETICO（栃木県佐野市）、女子はFANATICOS Girls（高崎市）がともに初優勝した。

男子35、女子8チームが出場。ブロック別の予選リーグを戦い、決勝トーナメントで優勝を争った。

アミューズメント事業を展開するNEXUS（ネクサス）が地域社会貢献活動の一環として開いた。スポーツ振興や子どもたちの健全育成を目的に毎年開かれており、12回目。

優勝チームを除く上位成績は次の通り。

【男子】②FC下川前橋（前橋市）③DELMIGLIORE CLOUD群馬U−12（同）

【女子】②藤岡ブルートパーズフューチャーズ（藤岡市）③AC館林フェリスU−12（館林市）

入学・入園に手作りバッグ
桐生一高生ら 発達障害の子へ

高崎　桐生一高ファッションコースの生徒と卒業生8人は、発達障害の子どもを持つ母親を支援するNPO法人「itoko」（高崎市吉井町、浅香千恵代表）を訪れ、入学や入園に必要な手作りの手提げバッグや上履き入れを贈った。

新入学児・入園児の家族7組から、かばんの大きさや形のほか、「布はどの向きがいいですか」などと要望を聞きながら、ミシンで縫い合わせた＝**写真**。

3歳の長男が入園する藤井理美さん(32)は「既製品では合う物がなくて困っていた」と感謝。同高2年のサルフォ山口愛里さんは「気持ちを込めて作った。大変な人の力になれたらうれしい」と満足そうだった。

浅香代表は「日々の子育てに精いっぱいなお母さんにとって入学準備はとても大変なのでありがたい」と話した。

創立25周年 160人祝う
中央ロータリークラブ

前橋　社会奉仕団体の前橋中央ロータリークラブ（井上芙美子会長）は23日、創立25周年記念式典と祝賀会を前橋市内で開き、交流のあるクラブのメンバーら約160人が節目を祝った。

井上会長は出席者に感謝し「今後もロータリアンの基本を重視し、奉仕の理念を信じ、仲間を増やしたい」とあいさつした＝**写真**。

記念事業として特別養護老人ホーム第二明光園（同市）にベッドと車いすを寄贈しており、この日は目録を贈呈した。

同クラブは1994年4月に発足。会社経営者や弁護士ら26人が所属している。

伝統の味守ったうどん店閉店
小麦を自家栽培

玉村　昔ながらの小麦で伝統の味を守ってきた玉村町角渕のうどん店「麦畑」が23日、閉店した。当日は地元のファンが駆け付け、別れを惜しんだ。

郵便局職員だった岡部要（もとむ）さん(78)＝**写真右**＝と妻の澄江さん(73)＝**同左**＝が2006年に開店。同町で昔から親しまれていた小麦「農林61号」を自家栽培し、同小麦100%のうどんを提供してきた。体力仕事の小麦作りに限界を感じ、閉店を決めた。

足しげく通っていた新井小枝子さん(50)＝藤岡市中大塚＝は「地元の家庭の味。もう食べられないのは残念」と話した。

岡部さんは「趣味で始めた店が続いたのも皆さんのおかげ」と訪れた客に感謝した。

新作ドレスに熱い視線
本県モデル10人出演

高崎　スペインのブランド「Sophie et Voila（ソフィーエトヴォイラ）」の新作ドレスのコレクションショーが24日、高崎市飯塚町の結婚式場「ヴィラ・デ・マリアージュ高崎」で開かれた。オーディションで選ばれた本県のモデル10人が、純白のウエディングドレスなどを身にまとい、ランウェイを歩いた＝**写真**。

個性的でありながら奇抜になりすぎないデザインが特徴という。紹介された40点余りのドレスに、来場者は熱い視線を送っていた。

本県と長野県でブライダル事業を展開する「プリオウエディングスG&N」が主催した。

ばちさばき華麗
上州あずま太鼓会

伊勢崎　伊勢崎市東地区で活動する上州あずま太鼓会（須賀正文会長）の第29回太鼓フェスタが24日、市あずまホールで開かれた。園児から60代までの会員37人が、迫力ある演奏を響かせた＝**写真**。

小学生までのメンバーによるグループ「童せせらぎ」を巣立つ6年生4人がオープニングを飾った。太鼓教室参加者のステージも含め12曲で華麗なばちさばきを披露し、大きな拍手が送られた。お笑い芸人のアンカンミンカンが司会で会場を盛り上げた。

同会はニューイヤー駅伝をはじめ、県内外で年間40回ほど演奏している。

カタクリ守ろう 児童が看板作る
入野小

高崎　地元に群生するカタクリを守ろうと、高崎入野小（原勝弘校長）の4、6年生計50人が高崎市の同校で、保護を呼び掛ける看板を手作りした＝**写真**。

児童は「カタクリを守ろう」「カタクリを大切に！」と大きく書いた8枚の看板をデザイン。紫色のカタクリの花や笑顔の住民のイラストを描き、カラフルに仕上げた。

6年の山田七碧（ななみ）さんは「カタクリはとてもきれいなのでみんなで守ろうという気持ちを込めた」と話した。

看板は、31日に同市吉井町の吉井東コミュニティーセンターなどで開かれる「カタクリ咲いたまつり」に合わせて、カタクリの群生地「小串カタクリの里」に設置される。

健康増進施設が10周年
黒沢病院

高崎　医療法人社団美心会は24日、運営する高崎市の黒沢病院で、健康増進施設「ヴァレオプロ」の開設10周年記念大感謝祭を開いた。多くの市民らが、エクササイズや講座を通して健康への意識を高めた。

参加者はボートをこぐように全身を動かす有酸素運動マシン、腕や脚の血流を制限して行う加圧トレーニング、ヨガなどを体験した＝**写真**。同市の伊藤方揚さん(47)は「普段使わない筋肉を伸ばすことができ、気持ちが良かった」と話した。

公開講座では、信州大特任教授の能勢博さんらが講演した。

久々に文楽 間近で

高崎　日本を代表する伝統芸能の一つである人形浄瑠璃文楽の高崎公演が、高崎市文化会館で開かれた。昼、夜の部合わせて約千人が、伝統文化を楽しんだ＝**写真**。

夜の部は「義経千本桜　道行初音旅」と「新版歌祭文　野崎村の段」が上演された。三味線の音や太夫の語りに合わせて動く人形に、観客は拍手を送った。

文楽は江戸時代に大阪で生まれ、2003年に国連教育科学文化機関（ユネスコ）の世界無形文化遺産に登録されるなど、現在も多くの人に親しまれている。今回が7年ぶりの高崎公演となった。

前橋の医師・村山さん 人との絆 写真に

伊勢崎　前橋市の内科医、村山義和さんの写真展が4月23日まで、伊勢崎市大手町の脳血管研究所ギャラリーmで開かれている。絆をテーマに、半世紀以上にわたり撮りためた人物写真など約50点を飾っている＝**写真**。

乳児から93歳まで幅広い世代の人物の写真が並ぶ。「仕事柄、人と接することが多い。それぞれの視線を意識して撮った」と話している。妻の久子さんが手掛けた陶芸作品も展示されている。

村山さんは小学校低学年でカメラに興味を持ち、部活や写真愛好団体で腕を磨いた。

土曜午後と日曜休み。問い合わせは同ギャラリー（☎0270・27・4546）へ。

9年ぶりコンサート
女声合唱団「伊勢崎コール愛」

伊勢崎　伊勢崎市南公民館を拠点に活動する女声合唱団「伊勢崎コール愛」（佐藤久美子団長）のコンサートが市民プラザで開かれ、60～80代の団員約20人が日頃の成果を披露した。

田中悠一郎さんの指揮とピアノで女声二部合唱曲集「そよ風のひとひら」などを歌った。ボイストレーナーの目崎ちひろさん、本県出身の歌手、高津佳さんを迎えたゲストステージもあった。最後は全員で「川の流れのように」を合唱した＝**写真**。

同団は2007年に発足。年を重ねても助け合いながら日々頑張っている姿を見てもらおうと、9年ぶり3度目のコンサートを開いた。

漱石に禅の影響
青雲塾で杉山老師

高崎　青雲塾（塾長・中曽根康弘元首相）主催の第64回講演会が、高崎市の青雲塾会館で開かれた。仰月庵杉山呼龍老師(70)が「夏目漱石と禅」と題して漱石と禅の関係を話した＝**写真**。

「吾輩は猫である」など漱石の小説には多くの禅語が出てくると説明。「禅は人間形成に関わり、作品にも影響を与えた」と述べた。

一方、「明治時代の作品にもかかわらず、現代の人にも読まれているのは、心や人間を描いているから」と解説。「自分自身を客観的に見て、書いていることが素晴らしい」と語った。

「主食、主菜、副菜バランスを良く」
群大シンポで武見さん

前橋　健康を支える「食環境づくり」について考える群馬大の地域貢献シンポジウムが、前橋市の群馬会館で開かれた。食環境研究の第一人者で女子栄養大大学院の武見ゆかり教授が「健康な食事で健康寿命の延伸を」と題して講演した＝**写真**。

武見教授は、栄養バランスの取れた食事を健康的な環境で食べられるように、条件の整った店を認証する「スマートミール制度」を紹介。食生活改善のためには「主食、主菜、副菜をバランス良く食べられる健康的な食事へのアクセスをよくすることが大切」と指摘し、食環境の整備が大切と訴えた。

「伝統の継承」テーマに
陸自第12音楽隊が定演

高崎　陸上自衛隊第12旅団主催の第55回定期演奏会が、高崎市の群馬音楽センターで開かれた。第12音楽隊の隊員ら50人が原口浩文隊長の指揮の下、迫力のある演奏で約1900人の聴衆を魅了した＝**写真**。

12旅団司令部が所在する相馬原駐屯地（榛東村）が今年で創設60周年を迎えるため、演奏会のテーマを「伝統の継承」に設定。第1部はクラシック、第2部は「世界に一つだけの花」など平成を彩った名曲メドレーで会場を盛り上げた。復興応援メッセージソングも演奏した。

中島みゆきさんの「時代」に合わせて12旅団の歴史や災害派遣任務の様子を映像で紹介したほか、陸上自衛隊松本駐屯地（長野県松本市）の隊員でつくる「松本アルプス太鼓」も出演した。

仏画2点 220年ぶり修復
吉井・仁叟寺

高崎　高崎市吉井町の仁叟寺（渡辺啓司住職）は、毎年恒例の法要「大般若会大施食会」を同寺で開いた。220年ぶりに修復された市重要文化財の「涅槃図」と「誕生図」が修復後初めて披露され＝**写真**、檀家ら150人が安泰の願いを込めた。

両図はこの日、本堂に掲げられた。渡辺住職は「今回だけ二つの仏画を同時に公開した。協力してくれた方に感謝したい」と話した。関係者は「見事にきれいになった」などと感嘆の声を上げた。

■世界遺産登録の経緯語る（伊勢崎）

世界遺産をテーマにした「境まちおこし講演会」が伊勢崎市の中沢カフェで開かれ、県世界遺産課の井上昌美さんの講演に約30人が聴き入った。

地元の田島弥平旧宅など「富岡製糸場と絹産業遺産群」が世界文化遺産登録に至った経緯や、20世紀初頭に日本が生糸輸出量で世界一になったことなどを、グラフやエピソードを交えながら分かりやすく説明した。

質問コーナーでは「他の建物群も世界遺産にできなかったのか」「旧県蚕業取締所境支所の活用を真剣に考えるべきだ」などの意見が出た。

同市境地区の地域活性化組織「境いきいきアイ」が開いた。

上毛新聞取扱店

前橋	大胡・佐藤店	266・3337	〃・中村店	352・9369
〃・大岡店	西野原店	221・5538	〃・根岸店	266・1307	倉賀野・高橋店	346・2331
〃・北爪店	藤井崎店	232・6819	〃・藤井店	283・3824	〃・中村店	346・7148
〃・野口店	藤岡店	288・4211	〃・余湖店	283・2160	新町・余三保店	42・0149
〃・佐山店	藤岡店	265・4157	駒形・湖店	65・8139	〃・中村店	42・0268
〃・前田店	本友店	231・5274	〃・森店	65・8573	〃・中村店	42・1818
〃・松本店	林口店	233・6701	〃・中川村店	64・3300	群馬町・宮川店	373・4548
〃・有友店	島店	235・6600	高崎・宮川店	322・6401	箕郷・共同店	371・5024
新前橋・小林店	田店	230・5501	〃・武川店	322・5590	足門・宮川店	372・1733
〃・井口店	田店	253・2415	〃・老川店	361・2684	室田・新聞販売所	374・0310
〃・前田店	林店	252・5678	〃・老川南部店	322・0722	吉井・片山店	387・2013
元総社・川島店	林店	251・1077	〃・橋本店	361・4950	伊勢崎・亀屋店	24・2662
〃・小林店	田店	253・2883	〃・橋本井野店	361・9081	〃・根岸店	23・9180
〃・前田店	部店	253・6721	〃・関口店	322・5249	〃・豊受中木店	32・9530
総社・田部井店		251・7663	〃・関口北部店	361・0755	〃・中木店	40・9007
		251・1192	〃・金井店	361・0378	〃・白井店	24・8555
			〃・金井双葉店	327・6342	〃・読売山崎店	25・7263
			〃・金井中尾店	364・5841	〃・森店	21・8633
			〃・金井大類店	352・5316	〃・内田店	25・1610
			〃・森店	323・0458	国定・千吉良店	62・0052
			〃・前田店	393・6624	境・天田店	74・3380
			中居・佐藤店	346・4911		